

## 平成 25 年度事業計画

本事業計画は定款第 38 条により平成 24 年度第 5 回理事会で承認し、内閣府に 3 月 27 日に届けたものである。（一部字句修正）

### 公益社団法人日本栄養・食糧学会 平成 25 年度（平成 25 年 4 月 1 日～平成 26 年 3 月 31 日）事業計画

#### <基本方針>

公益社団法人に相応しい社会に貢献する学術法人として、理事会が中心となって、目的とする公益事業推進のための体制を構築し、維持し、改革を進める。

学会運営としては、更なる公益事業の推進と財政基盤の安定化のため、税法上の特定公益増進法人であることを生かし、各事業における収入源を確保していく。

公益目的事業の展開のうち、まず栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業として以下を行う。第 67 回年次大会を名古屋大学において開催する。本大会から、講演要旨を Web システムでも公開し、参加者の利便性を高める。また、支部大会およびシンポジウム等を各支部における相応しいテーマ、効率のよい開催方法のもとに関連学会とも連携を図りつつ開催する。

国際的活動については、平成 27 年に当会が主催する第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN2015）開催の広報活動を行い、プログラム、資金調達等の準備を計画的に進める。また、第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN2021）の誘致活動を日本学術会議および他学会等との連携のもとに進める。これらの成功を視野に入れて、各国の関連学会との連携を強化する。

栄養科学並びに食糧科学情報の活用推進と普及事業の展開については、学会誌、欧文誌の刊行を通して人々の健康・福祉の向上に寄与する。日本栄養・食糧学会誌の定期的刊行を継続するが、その効率化のために昨年見直した学会誌編集体制での業務を軌道に乗せる。欧文誌 JNSV においては、日本ビタミン学会と協議しながら編集業務を進め、英文誌としての更なる国際化を図る。

これら事業展開は、各委員会により効率よく進めるものとする。

公益目的事業を維持しつつ新制度に対応していくために、昨年度常置委員会として発足したあり方検討委員会の活動を強化し、当学会の今後の進路を明確にする。また、利益相反（COI）委員会で、当学会に相応しい COI 制度の検討を進展させる。

新たに日本栄養・食糧学会技術賞（仮称）制定の検討を開始する。

以上の基本方針をもとに、下記事項を推進する。

#### I 学会運営および会員サービスの更なる基盤強化

- 1) 公益法人認定法に基づく公益事業推進体制の充実
- 2) あり方検討委員会答申による学会運営の改善
- 3) 編集委員会、編集事務局の協働体制の強化
- 4) 当学会に相応しい利益相反（COI）体制の検討
- 5) 寄付金受け入れ体制の確立、寄付金税額控除法人申請準備
- 6) 学会費納入のクレジット決済の定着

#### II 各種事業活動の推進

##### <栄養科学並びに食糧科学の振興と研究の活性化事業（公 1）事業>

##### 1) 大会事業の推進

(1) 第 67 回日本栄養・食糧学会年次大会の開催

会頭 下村 吉治 名古屋大学大学院教授

期日 平成 25 年 5 月 24 日（金）～26 日（日）

会場 愛知県名古屋市：名古屋大学 東山キャンパス 豊田講堂 ES 総合館 IB 電子情報館

①招待講演 2 題

「Licensing system for clinical dietitian in Korea」

Prof. Hyun-Kyung Moon (Department of Food and Nutrition Science, Dankook University, Korea)

「Nutrition transition in North African and Mediterranean regions」

Prof. Rekia Belahsen (Training and Research Unit on Nutrition & Food Sciences, Chouaib Doukkali University School of Sciences, Morocco)

②特別講演 2 題

③教育講演 8 題

④国際シンポジウム 「Nutrition as novel strategies for disease prevention」 4 題

⑤シンポジウム 10 テーマ

⑥サテライトシンポジウム 1 テーマ

⑦市民公開講座

期日 平成 25 年 5 月 26 日（日）

(2) 支部事業（発表・講演会・シンポジウム等）の推進

①北海道支部

- i) 第43回日本栄養・食糧学会北海道支部大会  
期日 平成25年10月26日（土）  
会場 北海道大学大学院農学研究院  
「組織の機能を支える細胞間クロストーク（仮題）」
- ii) 講演会、シンポジウム  
期日 未定  
会場 未定

②東北支部

- i) 第47回日本栄養・食糧学会東北支部大会  
期日 平成25年10月5日（土）  
会場 大学コンソーシアムあきた
- ii) 公開シンポジウム  
期日 平成25年10月5日（土）  
会場 大学コンソーシアムあきた

③関東支部

- i) 第92回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム  
期日 平成25年9月21日（土）  
会場 日本獣医生命科学大学  
「食品の生理機能成分と嗜好性成分に関する研究の新展開」
- ii) 第16回脂質・栄養シンポジウム  
期日 平成26年2月1日（土）  
会場 お茶の水女子大学  
「脂肪酸とコレステロール研究の最前線（仮題）」  
「トランス脂肪酸と酸化コレステロールは安全か？（仮題）」
- iii) 第93回日本栄養・食糧学会関東支部大会シンポジウム  
期日 平成26年2月  
会場 未定  
(社)日本食品科学工学会関東支部会との合同シンポジウム

④中部支部

- i) 第65回日本栄養・食糧学会中部支部大会  
期日 平成25年11月  
会場 名古屋大学農学部

⑤近畿支部

- i) 第52回日本栄養・食糧学会近畿支部大会  
期日 平成25年10月26日（土）  
会場 滋賀県立大学
- ii) 市民公開講座  
期日 平成25年10月26日（土）  
会場 滋賀県立大学
- iii) 第4回栄養学をめざす若手のためのフォーラム  
期日 平成26年2月末  
会場 大津市  
日本栄養改善学会近畿支部共催

⑥中国・四国支部

- i) 公開講演会  
期日 平成25年8月30日（金）  
会場 徳島大学蔵本キャンパス  
「中国・四国支部の栄養学研究教育への提言」
- ii) 第46回日本栄養・食糧学会中国・四国支部大会  
期日 平成25年11月16日（土）～17日（日）  
会場 翠山荘、山口県立大学

⑦九州・沖縄支部

- i) 市民公開講演会  
期日 平成25年6月または7月  
会場 未定
- ii) 第67回日本栄養・食糧学会九州・沖縄支部大会  
期日 平成25年10月18日（土）～19日（日）  
会場 JR博多シティ、九州大学農学部  
日本食品科学工学会西日本支部との合同大会

## 2) 表彰事業の推進

- (1) 平成 25 年度表彰授与式開催（平成 25 年度総会時）  
功労賞 2 件、学会賞 3 件、奨励賞 2 件
- (2) 平成 26 年度対象各賞選考の実施  
各種授賞等選考委員会開催（平成 25 年 12 月）  
功労賞 3 件以内、学会賞 3 件以内、奨励賞 3 件以内の推薦
- (3) 外部団体への授賞推薦の推進  
年間スケジュールの公開と更新の実施
- (4) 日本栄養・食糧学会技術賞（仮称）制定に向けた検討開始

## 3) 助成・助成推薦事業の推進

- (1) 支部大会事業活動の支援
- (2) 基金交付対象の選考の推進
- (3) 外部団体への助成推薦の推進  
学会誌等へ掲載しその公示をタイムリーに行う。

## 4) 栄養・食糧科学に関する研究・調査事業

- (1) 栄養成分表示・栄養教育の検討  
諸外国（含む地域）における栄養成分表示の現状・動向を調査する。
- (2) 食品アミノ酸データベースの検討  
遊離アミノ酸含量表の更新を行うとともに使いやすいデータベースへの改良を検討する。
- (3) 栄養・食糧学用語に関する検討  
用語辞典増補版出版準備を進めると共に、改訂版の検討を開始する。

## 5) 国際交流事業の推進

- (1) 第 12 回アジア栄養学会議（12th ACN2015）の準備
  - ・組織委員会を中心に各小委員会の活動を進め、プログラム、会場、後援・協賛団体への働きかけ等の作業を進展させる。
  - ・(株)ICS コンベンションデザインとの契約に基づき平成 25 年度分の業務委託をする。
  - ・スペインで行われる第 20 回国際栄養学会議（20th ICN2013）で 12th ACN2015 の広報活動を活発に行う。
- (2) International Union of Nutritional Sciences (IUNS) 関係
  - ・日本学術会議 IUNS 分科会と連携し、第 20 回国際栄養学会議（20th ICN2013 スペイン）に参加するとともに、シンポジウムを提案する等、その活動を支援する。
  - ・上記 IUNS 分科会のもとに第 22 回国際栄養学会議（22nd ICN2021）を日本に招致するため、20th ICN2013 会場で広報活動を行うほか、FANS 加盟学会をはじめ諸外国の学会に支援を求め、活動を強化する。
- (3) International Union of Food Science and Technology (IUFoST) 関係  
IUFoST Japan と連携しその事業を支援する。
- (4) Federation of Asian Nutrition Societies (FANS)
  - ①韓国栄養学会（KNS）との MOU 締結に基づき、第 67 回大会に KNS の役員を招聘する。
  - ②国際学術団体との連携を図る。

## 6) 倫理審査事業の推進

- (1) 迅速な審査体制の確立と実施

## < 栄養科学並びに食糧科学の情報の活用推進と普及事業（公 2） >

### 1) 出版事業の推進

- (1) 日本栄養・食糧学会誌の刊行  
66 巻 2 号～6 号、67 巻 1 号を定期的に刊行する。
- (2) Journal of Nutritional Science and Vitaminology（JNSV）の刊行  
日本ビタミン学会との共同編集で、Vol. 59-No. 2～No. 6、Vol. 60-No. 1 を定期的に刊行する。

### 2) 広報事業の推進

- (1) 会員向けメールマガジン栄食ニュースの充実と定期発信
- (2) 関連学術団体、関連機関との連携及び依頼記事の広報推進
- (3) ホームページの刷新と告知・掲載記事に関し、确实、迅速な更新の実施

### Ⅲ 総会、理事会等の開催（予定）

1) 定例社員総会	定例社員総会	平成 25 年	5 月	24 日	(金)
2) 理事会	第 1 回理事会	平成 25 年	5 月	23 日	(木)
	第 2 回理事会	平成 25 年	8 月	3 日	(土)
	第 3 回理事会	平成 25 年	10 月	19 日	(土)
	第 4 回理事会	平成 26 年	1 月	25 日	(土)
	第 5 回理事会	平成 26 年	3 月	21 日	(金)
	臨時理事会	平成 25 年	4 月	27 日	(土)
3) 業務執行理事打合せ	第 1 回業務執行理事打合せ	平成 25 年	6 月	8 日	(土)
	第 2 回業務執行理事打合せ	平成 25 年	7 月	13 日	(土)
	第 3 回業務執行理事打合せ	平成 25 年	9 月	28 日	(土)
	第 4 回業務執行理事打合せ	平成 26 年	1 月	11 日	(土)
	第 5 回業務執行理事打合せ	平成 26 年	3 月	8 日	(土)
4) 栄養・食糧懇談会		平成 26 年	2 月	15 日	(土)
5) 名誉会員・終身会員推薦委員会		平成 26 年	1 月	25 日	(土)
6) 名誉会員・顧問懇談会					
		平成 25 年	4 月	13 日	(土)
7) 各支部の参与会		支部大会にて			

### Ⅳ 委員会活動

1) 常置委員会					
①各種授賞等選考委員会		(規程により委員は非公開)			
②学会活動強化委員会		(委員長	近藤	和雄)	
③倫理審査委員会		(委員長	田中	清)	
④広報委員会		(委員長	三浦	豊)	
⑤国際交流委員会		(委員長	加藤	久典)	
⑥日本栄養・食糧学会誌編集委員会		(委員長	辻	英明)	
⑦JNSV 誌編集委員会		(委員長	吉田	宗弘)	
2) 非常置委員会					
①用語辞典委員会		(委員長	近藤	和雄)	
②栄養成分表示・栄養教育検討委員会		(委員長	山田	和彦)	
③遊離アミノ酸データベース委員会		(委員長	松石	昌典)	
④第 12 回アジア栄養会議 (12th ACN2015) 組織委員会		(委員長	宮澤	陽夫)	
3) 定款第 35 条 2. による委員会					
①中央選挙管理委員会		(委員長	下村	吉治)	
②日本栄養・食糧学会あり方検討委員会		(委員長	宮澤	陽夫)	
③利益相反 (COI) 委員会		(委員長	松井	徹)	